



メタバース事業の実施について

令和5年9月4日
共生推進本部室



1 交流会振り返り

【どうぶつの森による交流会】

○8月7日(月)14:30～16:00

アバターを通じたコミュニケーションを
体験



① 案内人(ガイド役)、操作について

② アバター(メタバース上)でのコミュニケーション

③ このチームで考える新しいコミュニケーション(公共性)について

1 交流会振り返り

① 案内人(ガイド役)、操作について

- メタバースで何かするときにはファシリテーター、モデレーターといった役割が必要。
- ガイド役は基本操作には習熟しとく必要もあるが、実際ワールドの中に入ったお客さんをどう導けるかが大切。
- すぐにパッとその場で臨機応変にしてガイド自体は続けるみたいなのはなかなか難しいと、前回、増田委員からも意見が出た。割り切りと決裁権が必要。【澤委員】
- 使いやすさ、操作のしやすさも大切【岡村委員】
- 参加している感じを持てる仕掛けやガイドが大切。それぞれを運営側が用意するのは大変なので、参加者にそこを手伝ってもらう仕掛けをつくれなにか。【高野委員】
- ユーザビリティ気にする必要なく、ユーザビリティを教える時間とか教えるチャンスっていうのを作ることが大事【奥出会長】

1 第2回研究会振り返り

② アバター(メタバース上)でのコミュニケーション

○他県事例で、自分の顔を出さなくていい、相談に乗ってくれる相談員の方の顔見なくていいのがあるがありがたいという意見がある。逆に自分が顔出したいじゃないじゃなくて、相手のリアルの顔を見なくても良いっていうところがアバターの利点。

○アバターの名前で呼び合ったり、己が誰であるかかっているのを超えたコミュニケーションになる【澤委員】

○心理的な部分でいうと、見た目のところ、二頭身、三頭身の姿でできるので、通常の研究会より少しくらいやわらかいような気持ちで、近い距離でやりとりをすることができた【小手委員】

○アバター使ったところだと表情も出さなくていいし、キャラクターも自分でなくて良いので、すごくコミュニケーション取りやすい。

○キャラクター付けがあるとみんなが親しみをもって、コミュニケーションを取ることができる。【トキワ委員】

○アバターを通すと、心理的な距離感というのは、バグる。人間は、相手のイメージを自分の感覚で美化していくので、心理的ハードルが下がり、コミュニケーションがとりやすくなる。【江口委員】

1 交流会振り返り

③ このチームで考える新しいコミュニケーション(公共性)について

○同じ世界感に基づいていくコミュニティー作るための共通の価値感、ルール感を作っていく【江口委員】

○どうぶつの森やメタバースの楽しみは、コミュニケーションや交わりだと感じた【岩崎委員】

○ビジネスのコミュニケーションとは異なり、公共性を担保する方が大事になってきてる。フィジカルな公共サービスに対してアクセスしにくい人たちが利用しやすくするなど、アクセスする人を増やすことが、結局公共性の貢献になる。

○新しいデジタルの公共性の楽しさを作っていく。どうやったら、楽しくみんなが公共性にアクセスできる空間にできるのか。【奥出会長】

2 試行的事業の進捗状況

ともいき×メタバース 現在の進捗状況

■選定事業者及び事業情報

○事業者名：[REALITY XR cloud 株式会社](#)

○使用するプラットフォーム：[REALITY World](#)（[スマートフォンアプリから参加可能](#)）

■事業概要

○ともいきメタバース講習会

実施時期：8月～10月

・第1回 8月22日（火）7名参加
アバターの制作、ライセンスの作成

・募集方法

県応募フォームより申込み

関係団体や市への情報提供を実施

・アンケート結果

今後メタバースを利用して、社会参加してみたいか。

とても思う 6名、思う1名



2 試行的事業の進捗状況

ともいき×メタバース 現在の進捗状況

■選定事業者及び事業情報

○事業者名：[REALITY XR cloud 株式会社](#)

○使用するプラットフォーム：[REALITY World](#)（[スマートフォンアプリから参加可能](#)）

■事業概要

○美術館

・実施時期（予定）

第1回 11月29日（水）～12月13日（水）

第2回 2月7日（水）～2月21日（水）

・実施内容

ワークショップで制作した作品や、ともいきアートをメタバース空間上に展示する。



2 試行的事業の進捗状況

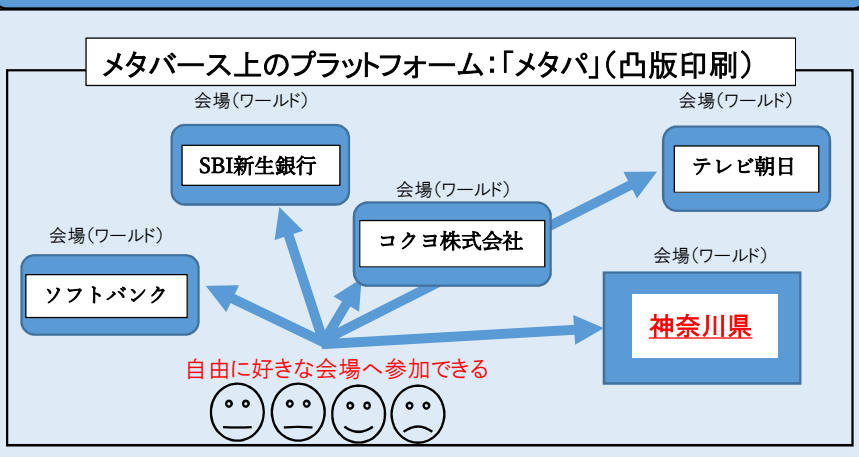
ひきこもり×メタバース 現在の進捗状況

事業概要

ひきこもり当事者を社会参加につなげるため、メタバース内で青少年向けイベントを開催する。

- 【ポイント】
- 多くの利用者呼び込むための仕掛け・工夫
 - 安心して参加・交流できる居場所の確保
 - 参加者を社会参加や就労につなげるコンテンツ等の発信

事業イメージ図



使用するプラットフォームの主な要件

- **気軽に誰もが参加ができる環境を整える**
⇒ スマホでアクセス可能なプラットフォームを使用
- **参加者の心の安全・安心を確保**
⇒ 悪質なユーザーや不適切行為などを規制するルール作り
- **必要に応じ参加者を県のひきこもり相談窓口につなぐ**
⇒ 県の相談・支援事業や就労イベント等を情報発信する環境を構築

2 試行的事業の進捗状況

ひきこもり×メタバース 現在の進捗状況

- 事業者名：凸版印刷株式会社 横浜営業所
- 使用プラットフォーム：メタパ(凸版印刷オリジナルプラットフォーム。スマホ・ウェブブラウザどちらも対応可)
- プレオープン(オープン前テストイベント)：9月9日(土)
- 本番イベント **【第1弾】11月11日(土)～12月10日(日)**
【第2弾】2月2日(金)～2月29日(木)
- 参加料：無料(期間中、入場・常設コンテンツ使い放題)

【ワールド(県のイベント会場)のデザイン】



エントランス



1Fカフェテリア



屋上ギャラリー(イベント会場として使用予定)



展示ギャラリー(マンガ室として使用予定)

TOPPA!!!
TOPPAN

メタパで
あつまろう。



3 令和6年度事業に向けて（ともいき×メタバーズ）

【令和5年度の取組】

- 障がい者向けの講習会の開催
- 美術館の開催により作品を展示



効果

- ・自己表現の可能性の拡大
- ・仲間づくりやコミュニケーションの場の創出
- ・障がい者の作品に関心を持ってもらう

【令和6年度の取組】

- ともいきアートの展示、ワークショップの実施
 - ・作品に関心を持ってもらい、引き続き障がい者の活動を知る（理解促進）を図る。
 - ・交流の機会を設けるとともに、メタバーズ空間にアクセスしやすくする

- メタバーズを活用した孤独や不安の改善のための居場所づくり
 - ・メタバーズ空間でゆったりと講師や障がい当事者等がアバターの姿で語らう場を創出。
 - ・数日間のプログラムを実施することで、悩みの解決や自らの進む道の再発見を促す。



障がい者と接する機会、障がい者の社会参画の機会をさらに創出し、障がいへの理解を通じて、全ての人にやさしい社会を目指す

3 令和6年度事業に向けて（ひきこもり×メタバース）

令和5年度の取組

〇ひきこもり当事者を含む青少年に対し、メタバース内で参加者の関心を引く

- ・イベントの開催
- ・コンテンツの発信



※アンケートで効果検証



アバターを介して参加者同士の交流



「お仕事漫画」を読み放題



V-tuberがメタバースの仕事を紹介

検証結果・課題を反映

メタバース内の状況

1 社会との接点(居場所)が不足

→開催期間の拡大とコンテンツ内容の充実

2 参加者間の円滑な交流

→誹謗中傷対策を含め、安心して他者と交流が出来る環境づくりが必要

3 リアルな支援との連携

→潜在化しているひきこもり当事者を支援へ

課題

解決策

令和6年度

メタバース内にひきこもり当事者の居場所と相談窓口の設置を検討

1 参加者が交流できる居場所

↳令和5年度の検証結果を踏まえ、開催期間・コンテンツ内容の拡充

2 居場所で安心できる環境の整備

↳ひきこもり支援者・経験者をファシリテーターを配置

3 こまりごと相談窓口

↳居場所利用者が、社会参加・就労の一步を踏み出すための相談機能

メタバース支援

社会参加のきっかけ



関心を引くコンテンツ(ゲーム大会など)



居場所交流スペース

支援者による相談



こまりごと相談

リアル支援



ひきこもり地域支援C・LINE相談
市町村・NPO



サポステ(就労支援)

プッシュ型支援へ

4 スケジュール（予定）

	8月	9月	10月	11月	12月	R6 1月	2月	3月	4～5月
ともいき アート	ともいきメタバーズ講 習会実施			美術館 (第1回)			美術館 (第2回)		
ひきこもり		プライベート		効果検証		次年度 契約準備			
				・令和6年度に向けた事業整理。 仕様書作成など					
				イベント (第1回)			イベント (第2回)		

随時「ともいきメタバーズ研究会」へ報告・相談

4 スケジュール（研究会）

	1～3月	R5 4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
ともいきメタバー 研究会	第2回 3月	第3回 6月 (NFT・Web3.0)	第4回 9月 (次年度事業等)	第5回 11月	
事務局	情報収集・検討		事業実施・検証		
			次年度事業の検討		

● 第5回 ともいきメタバー研究会

- ・試行的事業の実施状況報告・検証
- ・次年度事業の検討